

春先に流行するロタウイルス胃腸炎

県感染症情報センター

なき感染症を 知る

◆47◆

ンター)は、下痢便など患者の検体を収集して検査することで、流行している病原体の把握に努めています。

いることが分かっています。ロタウイルス感染の症状

感などもよくみられます。合併症として、けいれん、肝機能障害、急性腎不全、脳症、心筋

胃腸炎の患者の便には、ウイルスが大量に含まれています。患者の便を処理した後、十分に手洗いをして、手や爪(つめ)にウイルスが残っていること

塩素系漂白剤で消毒

塩素系漂白剤で消毒

と、下痢を主症状とする感染症です。

法律(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)に基づく調査(感染症発生動向調査)では、原因となる病原体の種類を規定していません。

その結果、11月から翌年1月にかけての感染性胃腸炎は、ノロウイルスによるものが大部分を占める一方、3

すると、感染してから2〜4日後に、水のような下痢や嘔吐が繰り返し起こります。その

炎などが起こることがあり、感染が広がっていきます。

▽感染拡大の防止

感染を広げないようにするには、おむつの適切な処理、丁寧な手洗いの徹底などが必要

す。調査している。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。このため、水分補給や栄養補給などの対症療法が中心となり、脱水症状がひどい場合には、医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので、使用しないことが望ましいとされています。

意識の低下やけいれんなどの症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。

(県感染症情報センター)

ワクチン接種で予防

▽冬はノロ、春はロ

その結果、11月から翌年1月にかけての感

染性胃腸炎は、ノロウイルスによるものが大部分を占める一方、3

月にかけての乳幼児を中心とした流行では、ロタウイルスによるものが多く含まれて

▽感染経路

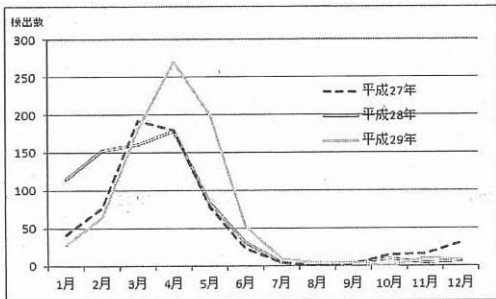
感染を広げないようにするには、おむつの適切な処理、丁寧な手洗いの徹底などが必要

す。調査している。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。このため、水分補給や栄養補給などの対症療法が中心となり、脱水症状がひどい場合には、医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので、使用しないことが望ましいとされています。

意識の低下やけいれんなどの症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。

(県感染症情報センター)

日本におけるロタウイルス(A群)検出状況



(平成30年2月16日現在)国立感染症研究所:病原微生物検出情報から

です。衣類が便や吐物で汚れたときは、適切な濃度に薄めた次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)でつけ置き消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスの感染は非常に強いので、十分に注意して

も、感染を完全に予防することは困難です。日本では、2種類のロタウイルスのワクチンが承認されていて、任意で予防接種を受けることができます。どちらのワクチンも、1回目の接種は生後14週6日までに受けることが推奨されています。

ワクチンの効果は良好で、特に重症化を防ぐ効果が高いとされています。その一方で、予防接種が始まってから、検出されるウイルスについて、遺伝子のタイプ(遺伝子型)に変化が見られています。

奈良県保健研究センターでは、前述の検査の一環として、ウイルス

▽感染性胃腸炎について
今年(年初からインフルエンザの大流行が注目されましたが、冬を中心に流行する代表的な感染症には、もう一つ、感染性胃腸炎があります。

感染性胃腸炎とは、細菌又(または)ウイルスなどの感染性病原体による嘔吐(おう

そで、都道府県などの研究機関(奈良県では奈良県保健研究セ

ウイルスが口から入り、死に至る場合もあります。

感染を広げないようにするには、おむつの適切な処理、丁寧な手洗いの徹底などが必要

す。調査している。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。このため、水分補給や栄養補給などの対症療法が中心となり、脱水症状がひどい場合には、医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので、使用しないことが望ましいとされています。

意識の低下やけいれんなどの症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。

奈良県保健研究センターでは、前述の検査の一環として、ウイルス

す。調査している。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。このため、水分補給や栄養補給などの対症療法が中心となり、脱水症状がひどい場合には、医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので、使用しないことが望ましいとされています。

(県感染症情報センター)